

10月22日 三重県の北と南で観光交流を図る
南伊勢町と連携協力協定



▲両町のマスコットキャラクターとともに写る締結式での記念撮影の様子

南伊勢町と菰野町との観光振興に向けた連携協力協定の締結式が役場本庁で行われました。これは、身近な観光地を訪れるマイクロツーリズムをさらに促進するために、海という菰野町とは異なる観光資源を持つ南伊勢町と協定を締結することで、それぞれの観光協会などが連携を行い、お互いの観光分野の活性化や交流人口の増加を図るためのものです。締結式で柴田町長は「今回の協定を県内の北と南の交流のきっかけにしたい」と伝え、南伊勢町の小山町長は「観光や文化などさまざまな交流に期待したい。北勢地域にはない南伊勢町の熊野灘の魅力などをぜひ体感しに来てください」と応えました。

10月31日 災害時などもしものときの助け合い
日赤地域奉仕団が結成



▲団旗を受け取った菰野町地域奉仕団委員長の中岡さん(写真中央)

日本赤十字社三重県支部菰野町地域奉仕団結成式が町民センターホールで行われました。日本赤十字社では、市町村ごとに地域奉仕団を設置しており、町では270人以上の方が奉仕団に参加し、今後の有事の際に地域で炊き出しを行うなど活動を実践していただきます。結成式では、活動資機材として団旗や炊き出し釜が伝達されました。

11月8日 11月9日～15日の秋の火災予防運動に合わせて
特別消防訓練を実施



▲訓練の最後に行われた消防署と消防団員による一斉放水

特別消防訓練を湯の山乗馬クラブ付近で実施しました。訓練は感染症対策を踏まえて例年より参加人数を縮小して第1部と第2部の2部制に分けて行い、消防署、消防団員など約40名ずつが参加しました。訓練では、林野火災を想定して消防署と消防団員による火災防ぎ訓練が行われました。

11月17日 がん研究支援のチャリティーラン
いのちの生命の駅伝を実施



▲御在所岳を背景に菰野大橋を走るランナーたち

生命の駅伝は、がん研究を支援するための募金活動を目的としてランナーがPRしながら県内各所を走る駅伝で、町では今年で3回目の実施となりました。駅伝当日は役場本庁での出発式と募金箱の受け渡しを行ってスタートし、菰野厚生病院へ向かうコースを6人のランナーが走りました。ランナーの皆さんは、通行者に手を振るなどして啓発活動を行いながら雲ひとつない青空の下、町内を軽快に走り抜けゴールしました。

▲ランナーとして一緒にコースを走った柴田町長

問い合わせ
四日市西警察署 ☎ 394-0110

12/1火▶▶12/10木 【スローガン】

年末の交通安全県民運動



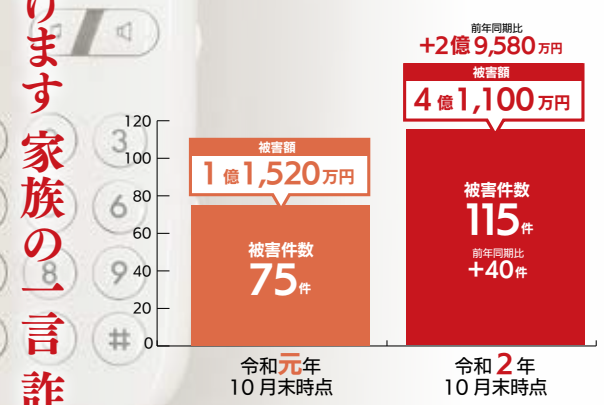
思いやるやさしい心で走る三重



CAUTION
飲酒運転した方以外も処罰の対象です。
飲酒運転のおそれがある人にお酒を飲ませた人、車を貸した人
飲酒を知りながら運転を依頼、要求して同乗した人

西警便り nishikei dayori

【合言葉】 特殊詐欺 多発中



三重県内で特殊詐欺の被害が多発しており、前年に比べて被害件数や被害額が増加しています。

- 「還付金がある」 「登録個人情報に消去する」
- 「犯罪に関わっている」 「料金未納がある」
- 「キャッシュカードを渡してほしい」
- 「暗証番号を教えてほしい」

今回は、私の日常業務とともに町長室の様子を紹介します。町長は、町の全ての予算を編成する権限と、教育委員会が担当する以外の町の事業を執行する権限を持っています。しかし、全ての業務をひとりで担当することはできません。そこで、私は基本的な方針を決め、各担当課が事業内容の詳細を組み立て、その内容に対して決裁を行うというシステムの中で、私がゴーサインを出すという仕組みになっています。ですから、町長室には机があり、そこに印鑑など決裁に必要な物品が置いてあります。また、町長の仕事は、町民の皆さんがもっと住みよいまちとなる

Theme 21 町長の日常を紹介します

このため、町長室でいろいろな研究を重ねています。ぱっと見渡してみても、壁には土地利用の規制を示す地図が貼ってありますし、オゾン濃度測定器やオゾン発生器、私と職員が打ち合わせの際に資料を映写するための32インチのテレビ、小中学校でのIT教育を研究するためのタブレットなど、さまざまな物品があります。今後に限られた予算のなか工夫をこらし、住みよいまちを作るための研究を続けていきたいと思っています。

